

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和5年度第1回河内長野市図書館協議会
2 開催日時	令和5年7月8日(土) 午前10時から
3 開催場所	河内長野市立市民交流センター(キックス)1階集会室
4 会議の概要	1. 開会 2. 任命辞令の交付 3. 教育長あいさつ 4. 委員及び事務局の紹介 5. 会長の互選、副会長の指名 6. 令和5年度組織重点目標及び予算概要について 7. 令和5年度図書館事業評価について 8. 第2期基本的運営方針の改定について①(諮問) 9. 第4次子ども読書活動推進計画数値目標の実績について 10. 令和5年度図書館協議会の開催予定について 11. 閉会
5 公開・非公開の別 (理由)	公開 市の図書館行政に対する理解を深めるため。
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 生涯学習部 図書館 電話0721-52-6933
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和5年度第1回図書館協議会会議録

【日時】 令和5年7月8日（土）午前10時00分～正午

【場所】 キックス1階 集会室

【会議次第】

1. 開会
2. 任命辞令の交付
3. 教育長あいさつ
4. 委員及び事務局の紹介
5. 会長の互選、副会長の指名
6. 令和5年度組織重点目標及び予算概要について
7. 令和5年度図書館事業評価について
8. 第2期基本的運営方針の改定について①（諮問）
9. 第4次子ども読書活動推進計画数値目標の実績について
10. 令和5年度図書館協議会の開催予定について
11. 閉会

【出席者】

（委員）尾谷雅彦会長、佐藤敏江副会長、
出石照美委員、今井佳代子委員、河浦和哉委員、徳竹志津枝委員、
西村一夫委員、松原澄規委員、三根ゆみ委員、本村研委員
（事務局）松本教育長、小川生涯学習部長、森館長、山本館長補佐（司会）、
森田主幹兼企画情報係長、青木主幹兼図書館サービス係長、
福井主査（記録）

【傍聴者】 0人

【会議資料】

- 次第4関係 ・河内長野市図書館協議会委員名簿（当日配付）
- 次第6関係 {
・令和5年度図書館予算の概要
・河内長野市第5次総合計画後期基本計画（抜粋）
・教育大綱・教育推進プラン体系図
・令和5年度河内長野市教育推進プラン 令和5年度の主な取組み
（抜粋）
- 次第7関係 {
・令和4年度図書館事業評価結果について
・第2期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の
方針に基づく事業計画（令和5年度）
・図書館事業評価に係るお知らせ便（令和5年7月）
- 次第8関係 ・第2期基本的運営方針の改定について① 及び別添資料①～③

- ・河内長野市立図書館令和5年度第1回図書館協議会第2期基本的運営方針の改定についてのご意見募集（当日配付）
- 次第9関係
- ・河内長野市第4次子ども読書活動推進計画について(数値目標の実績)
 - ・河内長野市第4次子ども読書活動推進計画（新委員に当日配付）
- 次第10関係
- ・令和5年度河内長野市図書館協議会の開催予定

1. 開会
2. 任命辞令の交付
3. 教育長あいさつ
4. 委員及び事務局の紹介

（事務局）

事務局から出席委員が10名であり、河内長野市図書館協議会規則第3条第2項の規定により本会議が成立したとの報告。引き続き委員および事務局職員の紹介。

5. 会長の互選、副会長の指名
6. 令和5年度重点目標及び予算概要について

（会長）

それでは、次第6の「令和5年度重点目標及び予算概要について」事務局から説明をお願いいたします。

（事務局から説明）

…資料「令和5年度図書館予算の概要」「河内長野市第5次総合計画後期基本計画（抜粋）」「教育大綱・教育推進プラン体系図」「令和5年度河内長野市教育推進プラン 令和5年度の主な取組み（抜粋）」に基づき説明

（会長）

ありがとうございました。事務局の説明に関してご質問、ご意見など何かありませんか。

（委員）

予算のうち図書館事業の会計年度任用職員の予算が増額になっていますが、これは

人数が増えたのか、給料がアップしたのかどちらですか。

(事務局)

これは給与改定がありまして、職員の人数は変わっておりません。給与そのものが上がっているということです。

(委員)

これは例年このようなかたちで上がる可能性があるんですか。

(事務局)

給与につきましては人事院の改定になりますので、その中で上がっております。

(委員)

わかりました。

(会長)

会計年度任用職員について説明をしてもらえますか。

(事務局)

会計年度任用職員では、司書18人、郷土資料の保存・活用を担当する職員が1人、月60時間勤務の職員が8人、そのほか一般事務職で週3日間勤務する職員が1人です。

(会長)

わかりました。ほかの皆様ご意見など何でも構いませんのでどうですか。

(副会長)

専任の司書は何人ですか。

(事務局)

正式な人数につきましては口頭で曖昧な回答をさせていただくより、改めて資料提供をさせていただくようにします。

(会長)

ほかに何か要望などはありませんか。

(委員)

まちかどカフェのボランティアとあるのですが、どういうものですか。ほかのもの

はだいたいわかるのですが。

(事務局)

まちかどカフェは認知症カフェのことになります。地域福祉高齢課が主管で月に1回開催しているのですが、認知症に悩む家族やそういった方々を支えるボランティアを集めて交流されるものになります。当初は「まちかどカフェ」といっていましたが、そのままここに用語として残っています。

(会長)

よろしいですか。

(委員)

はい、ありがとうございます。

(会長)

では、ほかにはどうですか。なければ次第6についてはご了承いただいたということにします。

7. 令和5年度図書館事業評価について

(会長)

それでは次の次第7に移ります。次第7「令和5年度図書館事業評価について」事務局から説明をお願いします。

(事務局から説明)

…資料「令和4年度図書館事業評価結果について」「第2期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針に基づく事業計画（令和5年度）」「図書館事業評価に係るお知らせ便（令和5年7月）」に、基づき説明

(会長)

ただ今説明のありました次第7について、資料が多いですが、ご意見などはありませんか。

(副会長)

数値目標のところ、学校との連携のところ、目標値は6,000になっていますよね。前年度を見ると4,400で、ほかの数字はわりとコロナ以前に戻すという感じですが、この数値だけちょっと飛び出ているんですが、何かそれなりの理由があるんですか。

(事務局)

ここの指標は、上の0～18歳の登録者率もそうなのですが、第4次子ども読書活動推進計画と連動した指標になっておりまして、第4次の子ども読書活動推進計画を策定するときの目標が6,000であったため、それをそのままこちらでも目標値にしています。

その分析について説明をさせていただきたいのですが、実際のところ昨年度は学校での教育活動はだいぶコロナ以前に戻りました。前年度は図書館から学校図書館に貸し出す冊数が5,200ほどまで数字が増えています。言語力向上司書がその間教育活動をしていなかったというわけではないのですが、その次の年になるとより一層学校の活動が盛んになってきて、言語力向上司書が図書館に来館される回数が減っているんです。それを図書館がどのようにフォローしているかという、図書館の本をネットで予約して貸し出すという方法なのですが、ネットで予約するとどうしても冊数が限られてきます。配送した回数としては減っていないのですが、貸し出した冊数で見るとどうしても数字が減ってきてしまっているというのが現状です。もう少し言語力向上司書が来館してもらえるような状況になれば、この数字は戻ってくるのではないかと分析していますが、特に昨年度の状況としてはこのようなかたちになっています。

(副会長)

わかりました。やはり現物を見て選書するのと、ネットで予約するのとでは違いますよね。ぜひ6,000は達成してほしいところですね。

(会長)

ほかにご質問、ご意見はございませんか。

(委員)

夏休みおたのしみパックで、40冊33個所とありますが、小学校は13校ですよ。それで放課後児童会が33個所あるということですか。

(事務局)

そうですね。複数の放課後児童会がある学校、例えば長野小学校だと5クラスあるので、クラスごとにパックを送らせていただいています。

(委員)

それはクラスの定員が40人くらいなのかもしれませんが、学年に応じたりとか、図書館にお任せで選書するんですか。

(事務局)

はい。放課後児童会の担当課である地域教育推進課に今年もパックを配送しようと思うが、各クラスの実態を教えてくださいという話をします。例えば、1から5までクラス数のある学校については、クラスを6年生だけにするとか、1年生から3年生までのクラスがあるといった実情があるので、そうすると同じ40冊ですが、パックにする本の内容は変わってきます。

(委員)

わかりました。

(会長)

引き続きご質問はございませんか。

(委員)

電子書籍の利用状況について、新しいコンテンツを提供しないと利用が減ってしまい、なかなか大変だと思います。数値はまた出てくると思うので、だいたいの状況でいいので教えてください。それと、昨年11月1日からマイナンバーカードや交通系ICカードとの連携サービスをしています。その申請状況と何人くらいの人が連携したカードで貸し出しをしているのかを教えてください。

(事務局)

電子書籍については、新型コロナ関係で臨時休館したときは急に利用が増えたのですが、また図書館が開くと減るという流れがあります。ただ令和3年度、令和4年度は数値的にもほとんど変わらない利用状況です。例えば、ログイン数ですと令和4年度は8,573件、前年度は8,467件でありあまり変わりません。貸出件数は僅かに増えており、令和4年度は4,150点、前年度は4,052点でした。今後も新しい電子書籍を入れつつ、学校との連携も模索しているところです。マイナンバーカードなどとの連携については、マイナンバーカード、交通系ICカード両方を合計した昨年度の申込者数は前年度末で89人でした。サービスを開始した当初11月は申し込みが増えたのですが、それ以降はなかなか増えないという状況です。マイナンバーカード、交通系ICカードを連携した方の貸出冊数については、数字はございません。

(委員)

それは交通系カードとわざわざ連携しなくてもいいんじゃないかという利用者の考えなのでしょうか。サービス開始から7、8カ月になるので少ない感じがします。

(事務局)

前年度末の数字なので、今日現在ではまだ集計していません。利用されている方は利用するのですが、まだ従来のカードの方もいらっしゃるという状況です。マイナンバーカードについては、世間で色々あったので伸び悩んでいるようなところです。

(副会長)

今の状況でマイナンバーカードはちょっと怖いでもんね。

(事務局)

個人情報や個人番号が図書館システムに登録されるわけではなく、情報が流出するという心配はありません。

(委員)

電算システムを更新して、スマートフォンに利用者カードのバーコードを表示し利用できるようになるのは今年度進められることなんですか。

(事務局)

はい。9月末から10月に図書館システムを更新します。その更新後にスマートフォンにバーコードが表示されて、使えるような形になります。

(委員)

先日大学生の知り合いに図書館でばったり会ったとき、まだ図書館の利用者カードがスマートフォンと連携されていないのが残念だという話をしていたので、できるようになるのは楽しみです。

(事務局)

喜んでいただけるように頑張ります。

今の話を総括しますと、委員の仰るとおりです。大学生だとカードを色々持つよりもスマホのアプリで集約するというのが世の中の主流になってきています。マイナンバーカードの普及に合わせて、非接触型でICカードとの連携は始めましたが、委員の仰ったようにスマホ1台で色々なことができるというのが主流になっていくのだろうと思います。

(会長)

よろしいですか。ほかにはご意見はありますか。なければ、「令和5年度図書館事業評価について」は了承されたということにします。

8. 第2期基本的運営方針の改定について① (諮問)

(会長)

では次に、次第8は当協議会に対する諮問になります。

(事務局)

「第2期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針の改定について(諮問)」を読み上げる

(会長)

皆様、諮問をいただきましたので、よろしくお願ひいたします。

それでは「第2期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針の改定について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局から説明)

…資料「第2期基本的運営方針の改定について① 及び別添資料①～③」「河内長野市立図書館 令和5年度第1回図書館協議会第2期基本的運営方針の改定についてのご意見募集」に基づき説明

(会長)

ありがとうございます。ご質問、ご意見をお願いしたいと思いますが、何分資料がたくさんございますし、ここで全てを読み込むことはできないと思いますが、基本的な用語などでも何かあれば。

(副会長)

用語ではなく市政アンケートについて、ここで聞くのは違うのではないかとはい思っているのですが、84ページのところで図書館の利用についての小学校区別の結果を見ると、校区によってすごく差が出ていますよね。これは学校のある地域によるのかなと思うのですが、私はちょっとそのへんがわからないので、図書館から離れているところの人は最初から図書館利用は頭にはなくて、近場の人は図書館によく来ているのかなと推測したのですが、図書館としてはどのように考えていますか。

(事務局)

小学校区別に統計を出しているのですが、回答をいただいているのは18歳以上の成人の方々になります。それでも図書館は市内に1館しかございませんので、図書館が自宅から遠いか近いによって、利用にも影響しているのかなとは思っています。

(委員)

やはり地理的なことですね。

(事務局)

そうですね、地理的にどういう傾向があるかということを見ています。

(委員)

私も84ページの結果を見てすごくショックでした。

(事務局)

補足させてもらってもいいでしょうか。グラフの横に書いてあるnは回答数なんです。そのため天見小学校区は1人しか回答されておらず、その1人の回答がすべて反映されています。

(委員)

そういうことなんですね。

(事務局)

この市政アンケートは冒頭の説明にもありますように、図書館だけではなく市民から2,000人を抽出して、その時々の特ピックスを聞いています。どうしても属性として居住の小学校区別の人口に応じて抽出して、河内長野市を縮尺した形で2,000名を抽出して実施しているんです。そのためもともとの回答母数が少ないものというのは、今事務局でも申し上げました通り、そのマトリックスで切り取ると数名であったりする場合があります。その場合はっきり申し上げて84ページの校区別のマックスでもnが20くらいですので、ほとんど統計学的には意味がないものです。誤差がすごく生じるものですので、お気になさらなくて結構です。委託業者がすべての設問で年齢別と校区別で分析していますのでこのような結果がでていますが、ここは正直申し上げてあまり議論する意味はないかなと思います。

(委員)

年齢だったらわかるのですが、回答人数については知らなかったのも、自分の住んでいる校区の状況、校区によってここまで違うのかと思ひまして。そういう意味ではないんですね。

(会長)

よろしいですか。市政アンケートの調査報告についてはまたじっくり見ていただければと思います。結果だけを見てしまうと間違ふということですね。ほかにご質問などはございませんか。なければ、資料が多い中で重要な案件ですので、じっくり検討していただきたいと思います。そしてA4サイズのこの件について、もう一度事務局から説明をお願いします。

(事務局)

委員の皆様にご回答いただくためのフォームがこちらになりまして、QRコードを読み込んでいただくと、回答方法が載っています。これでも結構ですし、裏面にはフックス番号とご意見を記入できる欄を設けておりますので、こちらに記入いただいてファックスで送っていただくか、図書館に来られる際にご持参いただくこともできます。これらのいずれかの方法でご意見をいただきたいと思います。こちらのとりまとめの都合もございまして、申し訳ありませんが7月31日を締め切りとさせていただきますので、どうぞご意見の方をよろしく願いいたします。

(会長)

皆様よろしく願いいたします。

(事務局)

先ほど焦点になりました84ページの件ですが、83ページからご覧いただきたいのですが、要は問31で図書館、公民館、自動車文庫を知らないと答えた方にお尋ねしているもので、これとの一対なので、もともと母数の少ないところでの質問ですので、市民全体に図書館の利用意向を聞いたものではないんです。この資料が非常にわかりにくくて申し訳なかったのですが、83ページの回答の解説なんです。だからすごく母数が少ないんです。解説不足で資料の出し方として申し訳ありませんでした。それを踏まえて今後読み込んでいただく時にご配慮いただければと思います。

(会長)

はい、事務局からの説明でした。ご審議のほどお願いいたします。

9. 第4次子ども読書活動推進計画数値目標の実績について

(会長)

それでは次第9「第4次子ども読書活動推進計画数値目標の実績について」に移ります。

(事務局から説明)

…資料「河内長野市第4次子ども読書活動推進計画について(数値目標の実績)」「河内長野市第4次子ども読書活動推進計画(新委員に当日配付)」に基づき説明

(会長)

今事務局から「第4次子ども読書活動推進計画数値目標の実績について」ご報告を受けました。これについてご質問、ご意見などはございませんか。

(委員)

不読率とはどういものですか。

(事務局)

不読率の出し方としては、子ども達にとある一定期間において本を1冊でも読んだかという調査をし、1冊も読んでいないという子どもの割合です。

(委員)

ありがとうございます。

(副会長)

毎年学校図書館協議会が調査してやはり不読率は上がっています。

(会長)

ほかにご質問やご意見などはいかがですか。なければ今の案件につきまして、ご報告が了承されたとします。

10. 令和5年度図書館協議会の開催予定について

(会長)

それでは次第10について説明をお願いします。

(事務局から説明)

…資料「令和5年度河内長野市図書館協議会の開催予定」に基づき説明

(会長)

ありがとうございました。

(事務局)

先ほど少し触れましたが、市職員の司書の募集がようやく実現いたしまして、7月10日までがエントリー期間になっており、年齢幅も35歳くらいから受けられるようになっていますので、お知り合いで河内長野市で働きたいと思われる方がおられましたらぜひよろしくをお願いします。

(副会長)

募集人数は1名ですか。若干名ですか。

(事務局)

1名程度になります。

(副会長)

数年前に1人ほかの部署に異動された方の補充ということですか。

(事務局)

そういうわけではなく、ここ数年司書の年齢も上がってきており、そろそろ採用しないとということになりました。

20年間採用がなく、当局の方にはずっと要望を出しており、やっと1名の採用をしてもらえることになったという状況です。

(会長)

ほかに報告はありませんか。先ほどの司書の配置についてはまた資料の配付があるんですね。

(事務局)

次回年報の報告をさせていただきますので、その時に改めて。

(会長)

ほかにないようでしたら、審議を終わりたいと思います。

11. 閉会

以上